

田村地区だより

7月号 No.184号

令和2年(2020年)

6月25日発行

発行責任者 田村地区活性化協議会

会長 前田 史由

〒 629-3432

京丹後市久美浜町平田 672

TEL・FAX 0772-83-1142

ご意見・ご感想は果樹センターまで

田村再発見

田村の自然その3

「メダカ」

6月21日。大井区の田んぼの排水溝付近で、「メダカ」を発見しました。2匹で泳いでいました。思わずスマホに収めようと努力しましたが、接写は出来ず、写真①のようになってしまいました。

田村では、ここ10年近く、「三分の水路」で見かけることはありましたが、他の地区で見かけたことはありませんでした。田村地区には、確かに「メダカ」が生息しています。すごいです。



見にくいですが、大井区で発見したメダカです。

「メダカ」は、昔、田んぼや小川に、普通に生息していました。多くの皆さんが、「メダカ捕り」の経験があるのではないでしょうか。しかし、近頃ほとんど見かけることが無くなりました。農薬や生活排水、護岸工事や水路の整備、外来生物（ブル

ーギル、カダヤシメダカに酷似等）の増殖等による環境の変化が大きな原因ではないかと言われています。1992年、「メダカ」は、環境庁のレッドリストに絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危機が増大している）と記載され、さらに2003年にはレッドデータブックに絶滅危惧種と指定されました。

小学校5年生の理科で、「メダカ」の学習をします。30年ほど前は、子供達が、地域で採集してきた「メダカ」を飼育していましたが、今では野生の「メダカ」は採集できず、「ヒメダカ」等を教材として業者から購入する学校も多いです。

「メダカ」は、少し黒く見える「北のメダカ」と少し茶色に見える「南のメダカ」に大きく分けられ、丹後・但馬地方がその分布境界線と言われています。大井の田んぼで発見したメダカは「南のメダカ」のようでした。

「メダカ」が生息する田村地区。まだまだ昔ながらの自然が残る地域です。「メダカ」も田村の宝物の一つです。皆で大切に守りましょう。

7月の田村地区

かぶと山小学校

31日(金) 1学期終業式

かぶと山こども園

2日(木) プール開き

3日(金) 園開放

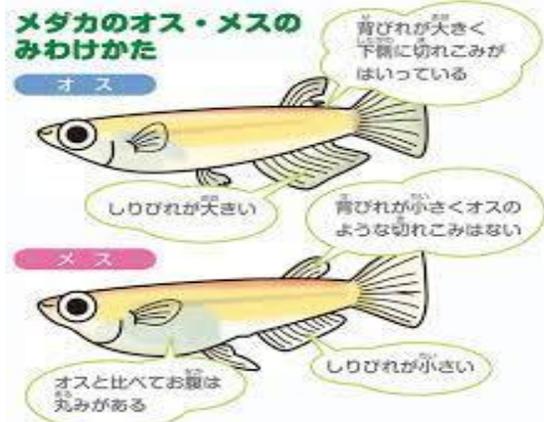
7日(火) セタまつり

16日(木) 誕生会

17日(金) 園開放

20日(月) 1学期終業式・笹おくり

28日(火) 登園日・カレークッキング



メダカにも、オスとメス違いがあり、背びれ・しりびれの大きさや形の違いなどで見分けるそうです。メダカがいたらオス・メスの違いを見て下さい。

田村ゆめゆめの里

田村地区の皆様こんにちは。最近雨の日が多く、少しでも気分を明るくしようと、紫陽花をモチーフに玄關飾りやクラフト作りを行いました。今までは趣向の違う創作に、ご利用者様も知恵を絞ったり、手先を動かしたりと、楽しまれた様子でした。6月中旬以降は、昨今の状況を鑑み、感染症予防対策も少しずつ制限を緩和していくこととなり、近隣へのドライブは解禁となります。

また、少人数のボランティア受け入れや、密にならない配慮下であれば行事の開催も可能となります。

地域の皆様との交流については、都度相談させていただく形となりますが、要望等ございましたら気軽にご連絡いただければと思います。今後とも、温かいご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

